

◆コロナ関係 ～共助～

オミクロン感染は拡大の一途。日本の1日感染者数が8万人、累計で252万人と国民の50人に1人が感染したことになります。世界では累計で3.6億人と20人に1人の割合となりました。急激な拡大で、濃厚接触者もうなぎのぼり、その結果職場で人員不足が続出し、毎日の仕事が回らなくなるという事態になっています。

病院は、パパ職員・ママ職員が多く、保育園や幼稚園の閉園、学校閉鎖の影響で、出勤できない職員が何人か出ており、手薄な部署には他部署から応援に行くようにしています。

自助努力はもちろんですが、今は共助が必要とされている時期だと思っています。



縁の下の力持ち②
施設管理室

unsung Heroesとは「縁の下の力持ち」のことで、当院を支える「縁の下の力持ち」的存在で、当院にとってなくてはならない部署の紹介をしています。2回目は施設管理室です。

建屋、冷暖房機器、ボイラー、トイレ、建具、照明、上下水設備など、病院のあらゆる設備や備品の管理補修を担当しています。春日係長と藤田さんが、毎日朝早くから病院内外をくまなく見てまわり、補修箇所をいち早く見つけて対応しています。

電気も水道も使えて当たりまえですが、その管理は大変です。その上、引きちぎられたナースコールや扉のがたつきの修繕や、空調フィルターの保守など仕事は多岐にわたります。

職員が気持ちよく仕事ができ、患者さんが落ち着いて治療が受けられるためには、院内インフラの整備は極めて重要です。そのような重要な役割を担っている部署が施設管理室です。

◆今週の院長予定

1月31日	月	8:00運営会議、14:00エリーネス須磨取締役会、15:00神戸大学関連病院長会議(web開催)
2月1日	火	9:00外来、14:00手術
2月2日	水	今週の松江行はありません
2月3日	木	9:00～11:00来客
2月4日	金	9:00外来、14:00手術、16:00コロナ会議
2月5日	土	9:45新須磨クリニックで健診業務、14:00介護の家往診

◆私の本棚

未曾有と想定外 東日本大震災に学ぶ
畑村洋太郎 講談社現代新書

個人は3年で忘れ、組織は30年で途絶え、地域は60年で忘れる、歴史的な事象も300年で社会から消え、1200年経てば誰も知らなくなる畑村先生がいわれるように我々忘れやすい性質を持っています。東日本大震災のときも想定外という言葉がたびたび聞かれましたが、決して想定外ではありません。過去に同様の地震があった記録があり、吉村昭は小説「三陸海岸大津波」でそれをまとめています。ブルドーザーなどの重機がない時代では津波には備えるしかなかったのが、重機の発達で津波に対抗しようという意識が目覚めそれが非難を遅らせた可能性があります。

何事も絶対安全といったものはなく、リスクとベネフィットのバランスで見えていく事の重要性を改めて認識することができました。

◆献血にご協力ありがとうございました。

1月26日水曜に新須磨ホールで行った献血で400ml採血17名、200ml採血2名の採血ができました。コロナ禍のため献血が不足してなかで、19名もの献血をしていただいたと、日赤から非常に感謝されました。ご協力ありがとうございました。



いい言葉 親の夢 つぎつぎ消して 子は育つ
サラリーマン川柳

古いサラリーマン川柳です。そうそう、こんなもんだ、このようにして子供は育つのだと、誰もが実感していることです。それにしても、入試会場での傷害事件や、共通テストでのスマホを使ったカンニング事件といったニュースを聞くと、夢を消すどころか夢をぶち壊された親御さんの嘆きが聞こえるようです。本来のいい言葉がちょっと辛い言葉になってしまいました。